岩船魂

村上市立岩船小学校
学校だより　No.7
令和　8年10月　1日
http://www.iwafune.ne.jp/~iwax2-10
E-mail:school@iwafune-e.murakami.ed.jp

正しい努力をする　～二人の言葉から～

校長　髙　橋　　健

9月に入って、「努力」について考える機会が二度ありました。

一度目は、当校の卒業生で岩船岸見寺町在住の三須穂乃香さんに６年生への講話と陸上指導をしていただいたときのことです。穂乃香さんは、「ドバイ2017アジアユースパラ競技大会」の陸上女子 100m で見事優勝された素晴らしい経歴をおもちです（村上市 HP から https://www.city.murakami.lg.jp/soshiki/79/misuhonoka.html）。

講話の中で、穂乃香さんは、**「目標を立てる→正しい努力をする→振り返る」**というサイクルを繰り返していくことの大切さを子どもたちに話してくださいました。

「大きな目標に向けた小さな目標を立て、それを一つ一つクリアするために努力する。そして、１日を振り返って、その努力がうまくいったのか、そうでなかった場合どこに問題があったのかを考えて努力の仕方を修正していく。それが、『正しい努力』になる」

というお話でした。

二度目は、「私はこうして勉強にハマった」（ビリギャル本人 さやか著、サンクチュアリ出版）という本を読んだときです。著者の小林さやかさんは、「学年ビリのギャルが１年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」（坪田信貴著、角川文庫）の主人公です。

さやかさんは、著書の中で次のように語っています。

> 勉強ができる人はなにも特別な人間じゃない。**勉強ができる人はただ「正しい努力の仕方」と「努力する楽しさ」を知っているだけ。**

> **結果を出すには「正しい努力」をすればいい。**そして正しい努力に必要な要素はたった3つ。**「モチベーション」と「戦略」、そして「環境」**です。

「モチベーション」とは、子どもたちに伝わるように言うなら、「やる気スイッチ」とか「心のエンジン」となるでしょうか。さやかさんは、このモチベーションが湧かない人は、「自分だけの価値ある目標設定ができていない場合が多い」と言います。

「モチベーション編」には、**「大・中・小の目標を決めよう」**とあり、これは、先の穂乃香さんの**「大きな目標に向けた小さな目標」**という言葉と重なります。

また、「戦略編」には、**「『勉強日記』でメタ認知を鍛えよう」**という項目がありました。

「勉強日記」には、**「その日の勉強を終えるとき、必ず明日やるべきことを書き出しておいて、次の日にそのリストを実際につぶしていき、そのとき感じた変化や成長、反対に勉強中に感じた課題を記録する」**そうです。

「メタ認知」とは「自分が今できていること、まだできていないこと、特に自分のなかで強化した方が良さそうな弱点を常に分析して、どんなことをしたら克服できるか、自分の行動や戦略を見直したり組み立てたりする能力」と説明されていました。

この**「勉強日記」**も、先の穂乃香さんの言う、**「振り返り」**と同じです。

二人の言葉を受けて、私たち教職員も「正しい努力」ができているか自戒を込めて振り返り、全ての子どもたちが自分の力を伸ばせるように力を尽くしてまいります。

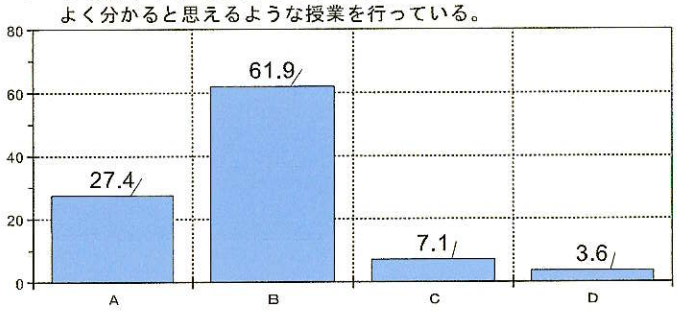
１学期保護者アンケートの結果をお知らせします。

１学期末学校評価アンケートにご協力いただき、大変ありがとうございました。結果がまとまりましたので、お知らせします。保護者の皆様からいただきましたご意見を基に、今後の教育活動の充実を図っていきたいと思います。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

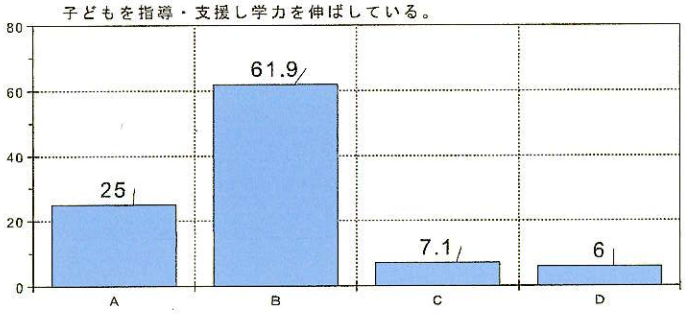
【アンケートの見方】
① アンケートの評価　　A：とてもそう思う　　B：そう思う。
C：あまりそう思わない。　D：分からない。

② 数字の値は％です。

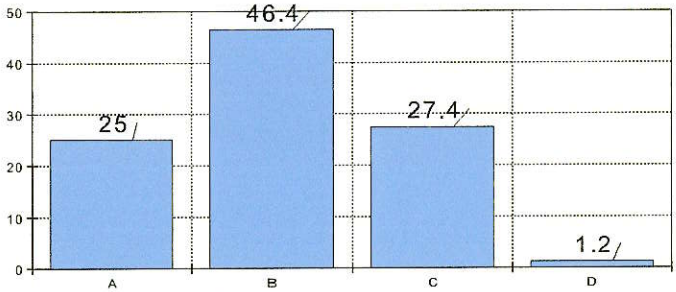
1　学校は、子どもが進んで学習し、よく分かると思えるような授業を行っている。



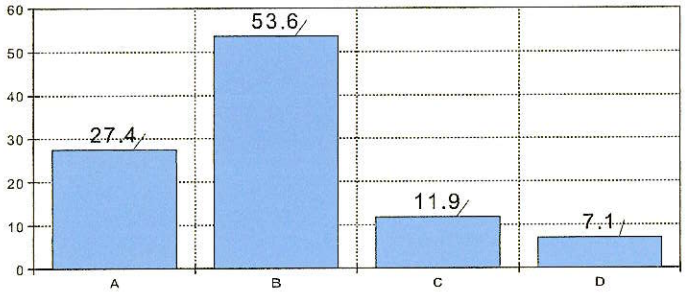
2　学校は、学習内容が定着するよう子どもを指導・支援し学力を伸ばしている。



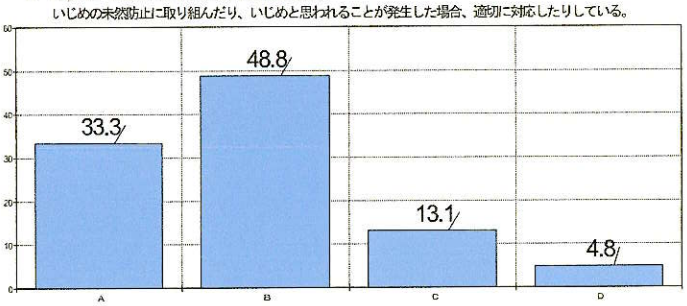
3　子どもは学年×１０分の授業外学習をしている。



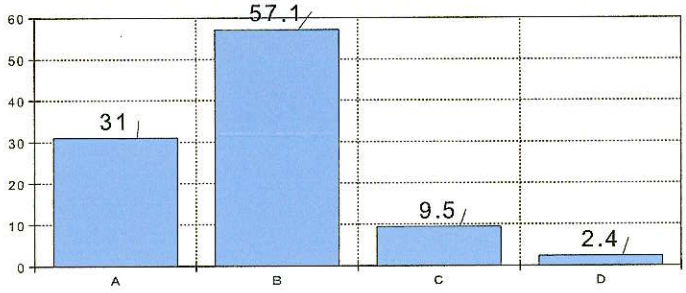
4　学校は、子どものあいさつや言葉遣いがよくなるよう、指導や支援を行っている。



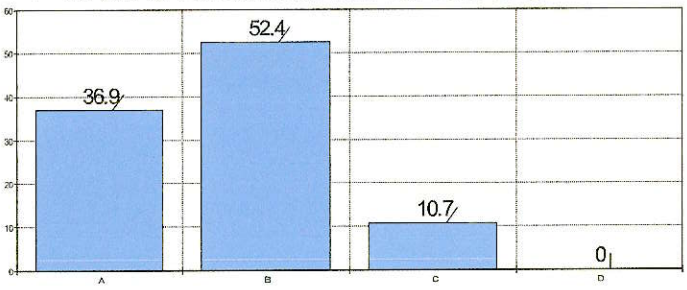
5　学校は、子どものトラブル等に早期に対応し、いじめの未然防止に取り組んだり、いじめと思われることが発生した場合、適切に対応したりしている。



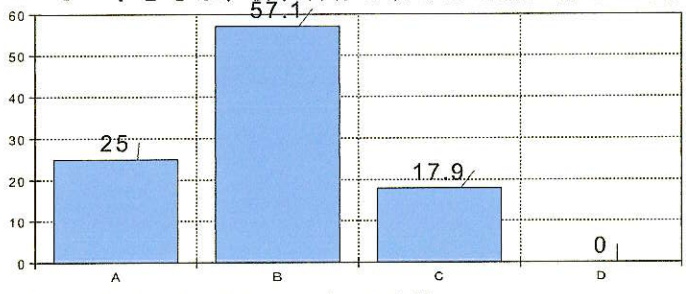
6　子どもは、運動や遊びを通して、体力や運動能力を高めている。



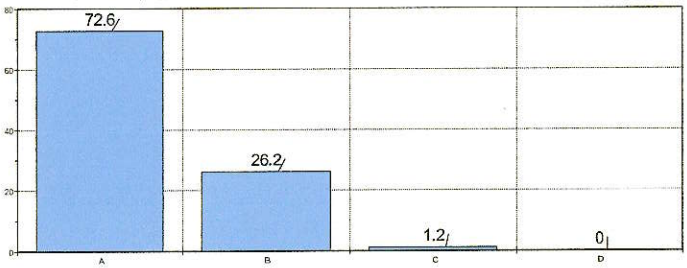
7　子どもは、朝、自分の決めた時刻に起き、元気に登校している。



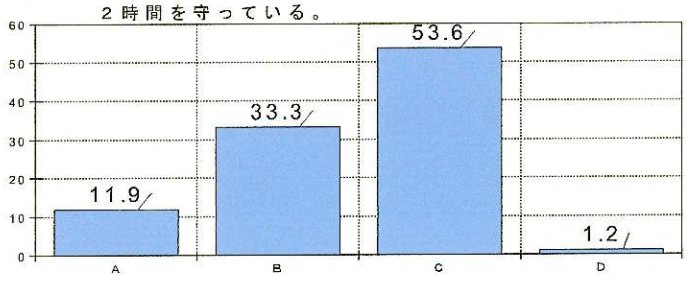
8　子どもは、夜、自分の決めた時刻に寝ている。



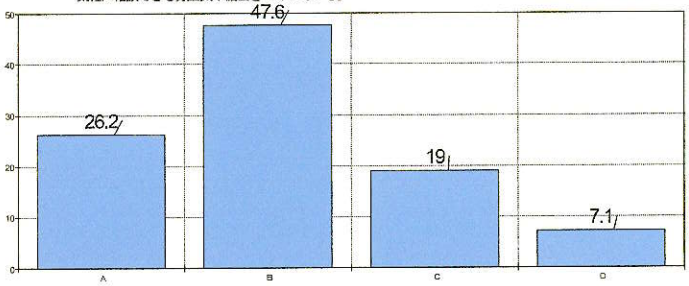
9　子どもは、朝ご飯を食べている。



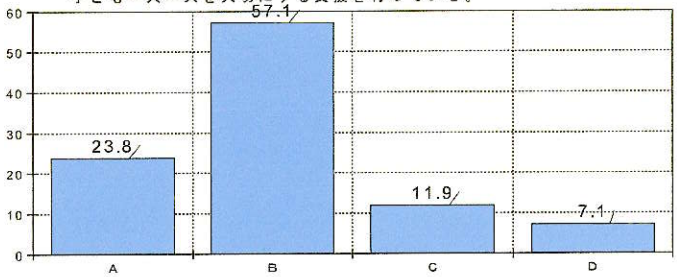
10　子どもは、平日のメディア時間、２時間を守っている。



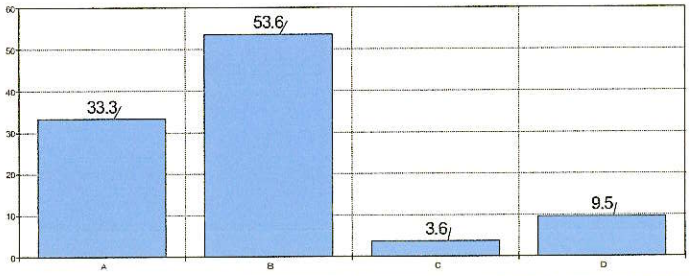
１１　学校は、子どものことについて
気軽に相談できる雰囲気や機会をつくっている。



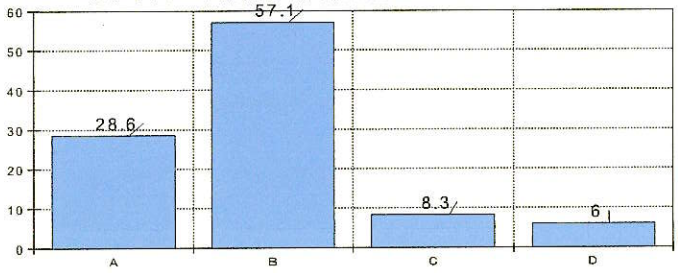
１２　学校は、子どもの実態把握に努め、
子ども一人一人を大切にする支援を行っている。



１３　学校は、地域のもの・こと・人とかかわる学習を進めている。



１４　学校は、教育活動が分かるように、
たよりやメール配信等で情報発信を適切に行っている。



授業での取組や指導・支援について、肯定的に評価していただきありがとうございます。（問１、問２）２学期も子どもたちが主役の、よく分かる授業を目指して、実践していきます。
問３の「学年×１０分の家庭学習」については、28.6%の方が否定的な評価でした。今後も、家庭学習の定着、充実に向け、継続して指導していきます。ぜひご家庭でも、確認と励ましをお願いします。
問１０の「平日２時間のメディア時間」では、半数以上となる57.9%の方が否定的評価でした。メディア時間の長さは学力に大きな影響を与えます。引き続きメディアコントロールの大切さについて指導していきますので、ご家庭でもメディアとの接し方について、お子さんに働き掛けをお願いします。

ご意見もいくつかいただきましたので紹介します。

○　いつもお世話になっております。お陰さまで毎日楽しく元気に登校できています。今後共よろしくお願いします。
○　お世話になっております。担任の先生にはいつも親身になって対応していただき感謝しています。ありがとうございます。
○　いつもお世話になっております。先生方を始め周りの皆さまのお陰で毎日元気に登校しています。今後共よろしくお願いします。

大変ありがとうございます。子どもたちが、元気に、楽しく、安心して登校できるよう、一人一人の子どもたちに接していきたいと思います。

○　このようなアンケートを実施する場合は、QRコードやURLが記載されたお手紙のPDFを添付することに加えて、URLを本文中に記載していただきますと回答がしやすく、とてもありがたいです。

お伝えいただき、ありがとうございます。アンケートを実施する際には、ＵＲＬを本文中に入れるなど、皆様が回答しやすいように工夫していきたいと思います。

○　担任の先生以外の先生で対応に不信感を持つ先生がいます。

ご心配をお掛けし、申し訳ありませんでした。個別にお話を聞かせていただきました。どの職員も同様の対応ができるよう、今後も子どもたちへの対応の仕方について確認し改善を図っていきたいと思います。
子どもたちが、安心して楽しく学校生活を送るには、職員と保護者の皆様との信頼関係が何より大切です。今後も職員の対応について心配なことがありましたら、いつでもご連絡いただきたいと思います。

○　６年生は今まで、一夜干しも塩引き鮭作りも地引き網も乗船体験も木工体験もしていません。鮭は不漁や高騰で難しいとしても、一夜干しは他の学年はしているのに、６年間の担任がたまたま組み込まなかったのか分かりませんが、平等に体験させてもらいたいです。他の学年に比べ６年間特別な活動が少ない印象です。英語の授業について、中等教育学校の受験であったり中学進学を控えた学年なので、ALTと英語専科の先生に担当してもらうとか、高レベルの授業を望みます。

各体験活動が実施できなかったことは、大変申し訳なく思っております。これまで５年生に体験活動が集中し、授業時数を圧迫している実態があったため、漁協等と相談させていただき、昨年度から各学年に振り分けて、現在の状況になっています。
また、英語の授業については、村上市全体でALT・英語専科の配当時間が決められているため、隔年で配当時間に増減があります。昨年度は配当時間が多く、今年度は少ないという年です。担任と外国語指導助手が協力して授業を行っていますので、どうぞご了承ください。

【１０月の予定】

日	月	火	水	木	金	土
				10/1	2	3
				陸上記録会予備日 （６年弁当持ち） 放課後子ども教室	委員会⑨	
4	5	6	7	8	9	10
	小中連携あいさつ運動~９日まで		６年中等学校説明会 		全校４時間 就学時健診 家庭教育講座	全校４時間 給食なし マラソン大会
11	12	13	14	15	16	17
	スポーツの日		マラソン大会予備日		クラブ⑧（３年生見学）	
18	19	20	21	22	23	24
	岩船大祭 体験的活動 休業日	マラソン大会 振替休業日	避難訓練 （不審者対応）		委員会⑩	
25	26	27	28	29	30	31
			４年校外学習 （新潟県庁・自然科学館　（４年弁当持ち）	６年「岩船中体験入学」 放課後子ども教室	クラブ⑨	

【交通安全みんなの願い】

９月１６日(水)に、「交通安全『みんなの願い』手紙配り」がありました。この取組は、悲しい交通事故が二度と起きないように、岩船小の子どもたちと地域の皆様とが一緒に３５年以上行っている交通事故防止のための取組です。この日は、４・５・６年生の代表の子どもたちが、車のドライバーさんに全校の子どもたちが書いた交通安全の手紙を手渡しました。ドライバーの皆さんは、子どもたちから渡された手紙をうれしそうに受け取り、安全運転への意識を一層高めているようでした。



